

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

住む家の基本

発行者：牧野 F P 事務所 合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第 501 号の目次>

■ 今週のテーマ

住む家の基本

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、
今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

住む家の基本

*:**

私たちは、
生涯どんな家に住んでいるのでしょうか？

主に、木造や鉄筋コンクリート造りの、

- ・ 持ち家
- ・ 賃貸

といった戸建ての家や部屋に、
生涯同じところに、

また、いろんなところに移り住んだりします。

なかには、人生の一時期を、
勤務先の社宅や寮、
学生時代を下宿や学校の寮や、
シェアハウスといったところに、
住むこともあるでしょう。

自分とその家族が、どんな家に住むかは、
人生のめぐり合い、
と考えることもできます。

そこで今回は、
住む家に焦点を当て、
住む家の基本について考えてみます。

住む家を探すのは人生のターニングポイントのとき

住む家を探すのは、

- ・親元を離れて学校に通学する下宿を探すとき
- ・就職、転職するとき
- ・転勤するとき
- ・結婚するとき
- ・子どもの成長などで手狭になったとき
- ・老後の生活を始めるとき

といったような、
人生のターニングポイントの時です。

探す家と家計

では、どのような家を探すのでしょうか？

現在とこれからの家計収支と貯蓄の推移を、
シミュレーションして、
将来にわたり、
家計支出が超過しない物件を探します。

賃貸なら、交通の便の良いところなど、
自分や家族の生活の便利性を重視しながら、
毎月、家賃が支払っていける物件です。

また、自宅を購入するなら、
生活の便利さもさることながら、
毎年の固定資産税と都市計画税や
修繕費が負担できる。
さらに、購入価格以上で売却できる、
資産価値のある物件です。

もし、購入時に住宅ローンを組むのであれば、
毎月返済ができることも条件に加わります。

家の生涯と人との関わり

ところで、家の一生は、

木造であれ、鉄筋コンクリートであれ、
新築の住宅として誕生します。

この誕生とともに、
生涯、この住宅と過ごす人もいるでしょう。

築年数とともに、
雨漏りや外壁、屋内の水回り、
といった、修繕をしながら、
住み続けることができるように、
家を維持します。

そして、住むことが困難になれば、
解体されます。

その家の生涯はそこで閉じます。

この家の寿命は、家の建っているところの
自然環境にも影響されますが、

屋根からの雨漏りなど、家が、
修理をしてほしいと悲鳴を上げているときに、
持ち主が、適切に手を加えることで、
延命させることも可能です。

家を長生きさせるか、短命で終わらせるかは、
つまり持ち主次第です。

家は黙ってはいるけど

家は、持ち主に直接話はしてくれません。
しかし、悲しんでいることもあります。

そのひとつに次のような例があります。

両親が住んでいた家、
つまり、子どもたちにとっての実家は、
両親が亡くなった後に、

相続する人が決まらないなど、
適切に相続がされないときや、

また、されても相続をされた子どもが、
その実家を所有していくために経済的にも、
遠方に住んでいるなど地理的にも、
困難なときなどです。

すると、その実家は、
・空き家になって放置される
・住む人がいなくなり、解体されて売却される

といった、家にとっては不本意ながら
生き続けることや、
生涯を閉じることもあるのです。

住む家の基本とは

住む家とは、
新築からの長いお付き合いになるのか、
中古住宅や賃貸住宅に、
短期間のお付き合いなのか、
どのようなお付き合いにしろ、

私たちは住むところがないと
生活ができません。

従って、たとえば住宅を購入するなら、
中古の住宅なら、

その住宅のリフォーム歴や住んでいた人など、
いわば生い立ちを知り購入すること。

また、新築の住宅なら、
ただ気に入ったのではなく、
少なくとも、戸建て、マンションに限らず、
どのような家に住みたいのか、
その理由を明確にして、

必要であれば、住宅ローンを組んで、
住むべきでしょう。

つまり、
誰もしっかりと見てくれてはいない自宅に、
見栄を張ることなく、
家計収支に即した家に住むこと。

住む家の基本なのです。

■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

住む家の基本は、

自分に適した快適な居住空間を満たす、

「住む家」を得ることです！

■人生の添乗員 (R) 牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員 (R)」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

創業 19 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。

そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003年 牧野FP事務所を創業。
2018年から牧野FP事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ1100件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
首都圏や関西にも
リモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*****:

■編集後記

*****:

一見、豪華な新築の家が、
数年で空き屋になっていることがあります
物悲しく思えるのです……

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週も、ご愛読の程、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：
牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。
<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします
E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
